



学校だより

令和3年 1月15日
大野城市立大野中学校
＜第8号＞

【健康 敬愛 自律】 文責 教頭 萩尾 徹子

3学期の始業式の1月8日は、例年にない寒波に見舞われ、今季一番の冷え込みと積雪に見舞われました。しかし、子どもたちは雪で足元が悪い中、元気に登校し、昼休みは雪遊びを満喫していました。



一步一步を着実に歩む年

今年の干支は丑年です。十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑（牛）の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年といわれています。また丑（牛）の年は、黙々と目の前の自分の仕事に取り組むことが将来の成功につながるとも考えられています。



3学期がスタートしました。気持ちを新たに目標に向かって一步一步邁進してほしいです。さて、「一年の計は元旦にあり」とうことわざがあります。ことに当たっては最初にしっかりと計画を立ててから臨むことが大切だという意味です。目標を持ち計画を立て、目標の実現に向かって努力する。「努力の天才」と評される元野球選手のイチロー氏がいますが、小学校6年生の頃にはこんな作文を書いています。



「ぼくの夢は一流のプロ野球選手になることです。

そのためには、中学高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるためには練習が必要です。

ぼくは、3歳のときから練習を始めています。3歳から7歳までは半年くらいやりましたが3年生の時から今では、365日中360日は激しい練習をやっています。

だから1週間中で友達と遊べる時間は、5～6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。」

小学生のころから目標をもち、その実現に向けて努力を重ねることが大切であることを感じることができます。今年は丑年。子どもたちには、将来のために、頑張ろうと思った決意を実現するために計画し、一步一步努力を重ねてほしいと願っています。

道徳の実態調査結果

本校では、道徳の授業づくりの研修を行っています。道徳の授業を通して、自分を見つめ、物事を広い視野で様々な価値観に触れ、子どもたちにより良い人生を歩んでもらおうと授業を展開しています。



あわせて、福岡県では毎年2年生を対象に道徳のアンケートを実施しています。その結果をお知らせいたします。アンケートは自分の生活を振り返って、「よくできる」「だいたいできる」「あまりできない」「できない」の4段階で20の項目を自己評価します。20の項目の中で、大野中学校の生徒は、「自分や他の人の権利を大切にし、よりよい社会の実現のために、法やきまりを守って生活している。」「時や場に応じて、礼儀正しい言葉遣いや態度をとっている。」「正義を大事にし、誰に対しても公正、公平に接している。」の順番で高い数値を示しています。社会正義を大切にし、公的な場での立ち居振る舞いができていることがうかがえます。反対に「公共の福祉や社会の発展のために進んで尽くそうとしている。」「国際的視野に立って、日本人としての自覚をもち、世界の人々と関わっていききたいと思っている。」「規則正しい生活を送りながら、健康を損なわないように生活をしている。」の順番で低い数値を示しています。公共の福祉や国際的な視野という広い世界を今後意識して生活すること、基本的な生活習慣を確立することが今後の課題となっているようです。このアンケート結果をもとに、職員も道徳の題材等を活用し、子どもたちにより良い人生を歩んでもらうための授業を展開していきます。ご家庭でも人生の先輩として、様々な考え方や価値観をお話ししていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

今後の予定

福岡県に緊急事態宣言が発出されましたので、予定が変更されることが予想されます。申し訳ありませんが、1月、2月の予定等については、その都度、プリントもしくはメールでお知らせいたします。

1月13日（水）、PTA役員の皆様で学校の花壇の花苗植え、ゴミ拾い等をしていただきました。校舎内外が美しくなりました。これから子どもたちの目を楽しませてくれる花々が咲き誇ると思います。厳しい寒さの中、作業をしていただき、ありがとうございました。

